



2026年5月13日

各位

東京都港区海岸1丁目2番20号  
株式会社 システナ  
代表取締役会長 逸見愛親  
(コード番号: 2317 東証プライム)  
問い合わせ先 常務取締役 小谷寛  
電話番号 03(6367)3840(代)  
U R L <https://www.systema.co.jp>

## 中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2028年度(2029年3月期)を最終年度とする中期経営計画を策定いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

### 1. 中期経営計画策定について

システナグループは、昨年、2025年5月13日に公表した2028年3月期を最終年度とする中期経営計画に基づき事業を推進してまいりました。これまでの戦略が奏功し、目標達成に向けた施策は順調に進捗していることから、中長期的な発展への新たな挑戦として、2029年3月期を最終年度とする新たな中期3カ年計画を策定いたしました。

足元の環境においては、半導体需給の変動や地政学リスクの高まりなど、事業活動に影響を及ぼし得る社会情勢の不確実性も増しているものの、AI活用の本格化やモビリティ分野のSDV化、顧客課題の高度化といった新たな成長機会が広がっております。これらの機会を確実に捉えるべく、環境変化を冷静に見据え、特定の事業や市況に左右されない強靱な収益構造を構築し、持続的に成長していく基盤を確立してまいります。

新計画では各事業の競争力強化、新規事業の創造によるさらなる多角化、人的資本経営の進化を軸として、当社グループの強みである多様な事業ポートフォリオを一段と進化させてまいります。これにより、2029年3月期において、売上高1,200億円、営業利益201億円、営業利益率16.8%の達成を目指します。積極的な成長投資を通じて収益性を高め、すべてのステークホルダーに対して、長期的かつ持続的に価値を還元できる企業として、新たなステージへと進化してまいります。

### 2. 経営方針

本計画の達成に向け、当社グループは以下の3つを基本方針として推進してまいります。

#### (1) 各事業の競争力の強化と事業ポートフォリオの進化

当社グループの強みは、複数の事業が独立して収益を生み出す多角的な事業構造にあります。新中期経営計画では、各事業がそれぞれの市場において他社を凌ぐ存在感を確立することを目指し、技術力、提案力、業界別ドメイン専門性をさらに高めてまいります。特にSDV化が進展するモビリティ事業においては、グローバル市場への展開と国内市場での成長機会の獲得を進めてまいります。あわせてそれぞれが高い競争力を備えた事業同士を連携させることで、単独の事業では実現し得ない総合的な提供価値を創出してまいります。

#### (2) AI関連事業の本格展開とストック型ビジネスの拡大による収益構造の進化

当社グループは、AI時代の変化を成長機会へと転換してまいります。具体的には既存事業のAI駆動化およびAI関連の新たな事業領域への展開、ならびにストック型を含む多様な収益モデルの確立を進め、付加価値の高い収益構造へと進化させることで、収益の継続性と再現性を高めてまいります。

#### (3) 人的資本経営の進化と持続的成長基盤の強化

人材は当社グループの競争力の源泉であり、その質と生産性は収益力に直結いたします。新中期経営計画では、高度専門人材の獲得力強化、一人当たり付加価値の継続的な向上、ならびに適正な処遇水準の確保を通じて、人的資本を企業価値の創出に結びつけてまいります。あわせて、ガバナンスの実効性向上、気候変動への対応、多様な人材が活躍できる環境整備を進め、持続的に成長する企業基盤を確立してまいります。

### 3. 業績目標

(単位：百万円)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 業績予想	2029年3月期 計画
売上高	94,400	98,000	120,000
<b>EBITDA+S※</b>	<b>15,819</b>	<b>17,250</b>	<b>21,510</b>
営業利益	15,367	15,960	20,160
営業利益率	16.3%	16.3%	16.8%

※EBITDA+S=営業利益+減価償却費+株式報酬費用（新株予約権）

以上